

## 第1部 踊りとのコラボレーション

生演奏歓喜の歌を身体で表現、躍動感あふれるステージ。

## 第2部 語りと音楽

第九の背景を語りで知り音楽で感じとる舞台。

モーツァルト＝ブゾーニ 「魔笛」序曲

ベートーヴェン第九とは（語り）

ベートーヴェン：交響曲第9番 第4楽章《歓喜の歌》

【リスト編曲／二台ピアノ版】合唱・ソリスト入り

## 出演

【踊り】 かつみバレエスクール  
GoodUp DanceCircle  
マナイアカラニ

【指揮・語り・ナレーション】 榎原 徹

【ピアノ】 白石 光隆、小柳 美奈子

【ソプラノ】 室越 海希

【メゾソプラノ】 渡辺 愛理

【テノール】 大森 怜也

【バリトン】 松田 和輝

# 那須第九祭り

by 那須クラシック音楽祭



2026年

11月29日(日)

那須町文化センター

入場料 2,000 円

13:30 大ホール開演

小ホール

(10:00~16:00 マルシェ)

- ・ 軽食販売（お弁当、ホットドック等）
- ・ 飲み物販売（コーヒー等）
- ・ 音楽小物販売
- ・ 歓喜の歌で楽器体験
- ・ 舞台イベント：ストリートミュージック、キッズステージ等、第九のつまみ食いミニライブ

## 第1部

### 榊原 徹

【指揮・語り・ナレーション】

#### 第1部・第2部出演

東京藝術大学音楽学部卒業後ドイツベルリン市に渡独。ヨーロッパ各地で演奏を重ね帰国後は、指揮者としてオーケストラ、舞台芸術を中心に国内外で活動。現代邦楽の指揮者としても日本音楽集団、オーラJなど多くの団体と共演を重ね作曲科三木 稔作品のエキスパートとしても作品紹介をしている。洋楽の未来と邦楽の伝統を共に思考し活動している。現在神奈川フィルハーモニー管弦楽団音楽主幹・常務理事、日本オーケストラ連盟理事など兼任。



### かつみバレエスクール

【踊り】

【主宰、講師プロフィール】  
平山 加津美

東京都出身。6歳よりバレエを習う。松井まゆりに師事しクラシックバレエを始める。2008年松山バレエ学校、鈴木禎子に師事。2014年、那須町にかつみバレエスクールを設立。生徒達の指導にあたる。

【団体プロフィール】

2014年、那須町に設立。3歳幼児クラスより大人クラスまで「楽しい事が一番」を大切に。出来た！、嬉しい！技術向上と共に楽しみながら踊る事を願って。日々生徒達と稽古に精進しております。団体画像 2024年、第3回発表会 作品名「オープニング」より



### マナイアカラニ

【踊り】

【主宰、講師プロフィール】  
白川 清子

2012年、50歳迎えてから県内のフラハーラウにて6年間フラを学び…その中で自分の目指すフラに気付き、ハーラウを離れ、独学でフラを学びながらサークルを立ち上げました。元来、フラは伝えるもので競うものではない。この真髄に添い、現在はケースバイケースで様々なジャンルのフラを展開しています。

【団体プロフィール】

2019年、公民館にて発足。コロナ禍を経て、現在は地元の様々なイベント…介護施設慰問等、地域密着型のフラを目指し、市内外で活動しています。



### GoodUp DanceCircle

【踊り】

【主宰、講師プロフィール】  
Serika

栃木県那須塩原市出身。ダンス歴15年、インストラクター歴11年。宇都宮大学教育学部音楽教育専攻卒業。小学校教諭第一種免許、中学校・高等学校教諭（音楽）第一種免許を取得。大学のストリートダンスサークルdoocleにて4年間Hiphopを学び、大学卒業と同時に県内の小・中学校の教員をしながら、ストリートダンス教室のインストラクターとして那須塩原市・宇都宮市・小山市で指導。2017年に教職を離れた後、2019年10月に独立してGoodUp DanceCircleを立ち上げ、那須町・那須塩原市でレッスンしています。

【団体プロフィール】

GoodUp DanceCircle（グッドアップダンスサークル）は栃木県那須町・那須塩原市で活動するストリートダンス教室です。2019年に開講し、メンバーは幼児から大人まで。個性と自信を大切に、ダンスを仲間と楽しみ、ショーを観たり出演したりしながら、自由により身近に楽しむ輪がもっと地域に広がればという想いで活動しています。2024年に那須町文化協会ダンス部に加入致しました。まずはダンスを楽しんでほしい！ダンスをしている自分を好きになってほしい！一人一人の個性とペースを大切に、をモットーにしています。皆さんにとって好きな時間・好きな自分になれるきっかけになればと思っています。一緒にダンスを楽しみましょう。



## 第2部

### 白石 光隆

【ピアノ】

東京藝術大学及び同大学院を修了後、ジュリアード音楽院留学。1991年学内におけるコンチェルト・コンペティションで優勝し、ジュリアード・オーケストラと協演。1994年日本音楽コンクール声楽部門木下賞（共演）受賞。ソロ、室内楽、協奏曲等、音楽性の高さには定評があり、内外の共演者の信頼も厚い。（一財）地域創造公共ホール音楽活性化支援事業、（公財）ソニー音楽財団「こどものためのクラシック」各登録アーティスト。東京藝術大学、お茶の水女子大学非常勤講師。



### 小柳 美奈子

【ピアノ】

東京藝術大学卒業。伴奏のイメージを変えてしまうアンサンブル・ピアニスト。様々なプレイヤーの呼吸の機微を読み取り、それに寄り添うしなやかな感性を数多くの公演、録音で発揮している。吉松隆「サイバーバード協奏曲」の準ソリストとしてフィルハーモニア管弦楽団とも共演。須川展也、トルヴェール・クワルテットの共演者としてのキャリアも長く、多くの録音に参加。パーカッションの山口多嘉子とのデュオ「パ・ドウ・シャ」でCDを発表。トリオ「YaS-375」メンバー。Youtubeにて「須川家おうちライブ」公開中。



### 室越 海希

【ソプラノ】

栃木県出身。武蔵野音楽大学音楽学部演奏学科声楽コース卒業。武蔵野音楽大学大学院音楽研究科修士課程修了。第5回日本パッサコンクール全国大会奨励賞受賞。2022年、第2回栃木県新人音楽家演奏会出演。同年坂東玉三郎特別招聘教授による特別講座にて和装所作の講義を受講。フランス大使主催コンサートに出演。中田喜直生誕100周年コンサートに出演。2024年、日本奏楽音楽コンクール声楽部門第3位受賞。2025年、第79回栃木県芸術祭音楽祭声楽部門にて芸術祭賞受賞。声楽を田中明美、田口久仁子、田口宗明の各氏に師事。ピアノを蓮実マス子、岩津勢子の各氏に師事。



### 渡辺 愛理

【メゾソプラノ】

国立音楽大学音楽学部演奏・創作学科声楽専修卒業。昭和音楽大学大学院音楽研究科修士課程音楽芸術表現専攻（オペラ）修了。日本オペラ振興会オペラ歌手育成部第42期修了。「コジ・ファン・トゥッテ」ドラベッラ役、「フィガロの結婚」伯爵夫人役など多数のオペラに出演。2025年4月には和歌山県「イオン de Opera」をはじめ全国で活躍する。声楽を大前恵子、矢田部和弘、柴山昭義各氏に指示。藤原歌劇団準団員、日本オペラ協会準会員。東京都出身。



### 大森 怜也

【テノール】

栃木県立黒磯高等学校卒業。武蔵野音楽大学音楽学部演奏学科声楽コース卒業。日本トスティ歌曲コンクール2023トスティ・ソーニョ賞受賞。令和3年度武蔵野音楽大学ニューストリームコンサートに出演。令和4年度武蔵野音楽大学選抜学生コンサート出演。令和5年度武蔵野音楽大学音楽学部卒業演奏会出演。令和6年大学院修士課程在学学生コンサート出演。令和2年度福井直秋記念奨学金給費奨学金奨学生。声楽を、田中明美、樋口達哉、松本美和子の各氏に師事。武蔵野音楽大学院音楽研究科修士課程声楽コース2年次在学中。



### 松田 和輝

【バリトン】

武蔵野音楽大学音楽学部演奏学科声楽コース卒業。同大学院修了。「千葉県新人演奏会」、「Swiss Music Night 2022～アルプスに響くヨーデルとスイス民俗音楽の調べ～」郷愁のメロディ～戦後80年～平和への願いを音に乗せて」他の演奏会に出演。「第4回国際声楽コンクール東京」歌曲部門第3位（1位なし）「第9回水と緑のまち江戸川新進音楽家コンクール」入賞。声楽を大川典子氏に師事。現在、武蔵野音楽大学研修員。株式会社MOUZUヴォイストレーナー。江戸川演奏家協会会員。



〈合唱指導：青木 澄子〉合唱団